

理学部後援会の皆様

11月6日(土)、平成22年度理学部秋季懇談会ならびに理事会が開催されました。前日の悪天候で心配していたのですが、当日は好天に恵まれ、100人を越える方々のご参加をいただきました。大学祭の期間中で各種行事が目白押しだったため、いつもの大会議室ではなく工学部の教室をお借りしました。多少窮屈ではありましたが、講義の雰囲気を経験でも感じていただけたものと思います。

理事会・懇談会の報告は別途掲載のとおりです。

午前中開催された理事会では、特に、最近の若者が海外留学をしない傾向にあることに対する理学部の対策についてご質問をいただきました。活発な意見交換を行いました。理学部として、今後ますます学生の皆さんに英語の学習や留学への興味をかきたてる雰囲気作りを行うこととお約束いたしました。

午後の懇談会におきましては、10月8日に記者会見を行い発表した国立大学法人32大学理学部長会議の緊急声明「明日の理学の教育と研究のために」に基づき、理学部のおかれた状況を説明しご支援をお願いいたしました。皆さまの温かいご指示を頂き、大変心強く思っております。

懇談会の後、化学科の武田裕行教授による「クラウンエーテルの抽出系における金属イオン選択能の解析」と題する講演がありました。なじみの薄い化学式が多く、戸惑いを覚えた方もいらっしゃると思いますが、長年にわたる一連の研究成果のエッセンスを終始にこやかにそして熱くお話いただきました。未知の現象に挑む基礎研究の楽しさを感じていただけたのではないのでしょうか。

講演会のあとは各学科に分れて学科別の懇談会、引き続き全体での懇親会が行なわれ、ご出席の皆さまと個々の教員との間で忌憚のない意見交換がなされました。

皆さまのご支援に感謝しますとともに、国家財政の困難な折ではございますが、しっかりと教育研究を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

平22年11月

理学部長
大橋 一世